

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			会議、打ち合わせの中で行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		法人監事の第三者評価を行っている。今後は外部第三者機関の評価を取り入れたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			会議の中で勉強会を取り入れている。外部研修のお知らせを定期的に行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	子どもによる。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・職員を中心に立案して、打ち合わせで報告している。午後のスタッフから案がでることもあるので、内容をきいて取り入れている。 ・職員の方からきいている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		・平日は固定されている（活動時間が短い）ことが多い。法人内他事業所（デイ）との合同イベント、季節のイベントを入れるようにしている。 ・長期休みは公共施設の利用、手づくりおやつ（買い物を含めて）を行っている。普段行けない公園へ行っている。 ・公共交通機関の利用の体験を検討していきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		長期休業時は、ふだんできないことを企画したり、課題を設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前に話合う。 活動の内容や気になる場面や様子の共有をしている。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	送迎があるため難しいが、気になること、緊急なことは送迎後に管理者、職員に報告している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			検証、改善の方法については工夫が必要（記録をより支援にいかすため）
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			りずむ会議で、計画書に沿った子どもの様子を共有している。その中で、見直しか継続かの判断をしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			学校によって違う。基本は保護者を通じて情報共有している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者・児童発達支援管理責任者が参画している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		学校からの連絡、手紙、子供の持ち帰る学校通信などを主に保護者の方で行っている 家庭の状況により学校と直接やりとりしている 22
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			法人内の事業所からの子については、事業にその事業所の児発管の人に話を聞いたり、活動の様子を見に行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じ行えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修に行っている。引き続き行っていけるように研修のお知らせを職員に伝えるようにする。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			公園や児童館にでかけた際に一緒に遊んでいる。利用者さんによっては家の近所を嫌がる子もいるので、出かける先には配慮しながら今後もでかけていきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時と連絡帳でのやりとり、面談で共有している。送迎時と連絡帳には良い所（本人がきいていたり、よめたりするため）、面談や必要に応じて電話で課題は共有していきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	研修会に参加した職員はいるが、まだ実践できていない。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に行っている。(来年度からシャキ福祉法人なるため、説明会を開き行った)
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		必要に応じて話を聞いたり、一緒に方法を考えている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		年3回行った(懇親会)
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		管理者に伝え、管理者から子どもや保護者に説明等してもらう。保護者には契約時に苦情についての説明をしている。職員の異動等で苦情受付者、解決責任者がかわることもあるので、年度の最初に文章や懇親会の中で伝えていきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月1回デイ通信を出している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的なツールを取り入れている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		クリスマス会に招待したり、地域ボランティアの受け入れをしている。今年はアート展も行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルはある。職員には会議、保護者には懇親会の時など、周知については定期的に行いたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・年2回避難訓練を実施(1回は送迎時の安否確認訓練を入れた) ・長期休みに防災学習センターで知識の確認を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会を中心に、会議の中で委員会の報告、虐待の内容についての確認、チェックリストをやるなどしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		状況に応じ、説明同意書をもらい、記録シートに記入している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	○		医師の指示書に基づき、家族からの指示に従っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		会議等で話し合い、原因分析して再発防止をしている。